

令和8年度 軟式野球部の指導方針等について

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	佐藤	宇野	外部指導員1年間	週2
副顧問	尾上			
副顧問	阿部			
副顧問	吉本			
副顧問	岡本			
副顧問	藁谷			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
 - ・日々の練習やトレーニングを通して、健康で豊かな心と丈夫な体を育てる。
 - ・自主練習の時間を多く設け、自ら考え、主体的に活動する力を育てる。
 - ・高等学校の生徒たちと野球を通じて関わり、社会性や規範意識を育てる。
 - ・部活動での上下関係を大切にし、企業就労に必要な礼儀や態度を育成する。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
 - ・夏季選手権大会で1回戦突破
 - ・秋季大会で1回戦突破
 - ・春季大会で1回戦突破

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
 - ・練習は、原則週に5日間（土日を含め）とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とする。
 - ・顧問の大半が球技経験者であり、安全に留意した的確な指導を行う。
- (2) 練習や試合等の計画
 - ・3月～11月の試合期間は月に1回の練習試合を目指す。
 - ・競技力を高めるため、色々な校種の学校と練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
 - ・「礼儀」「感謝・敬意」「意識をもった行動」を野球部の心得とし、これを通して豊かな人間関係を築き、集団の中で自分を表現する力を身に付ける。
- (4) 生徒相互の人間関係
 - ・チームとして活動していく中で、協調性や責任感を育成する。
 - ・後輩生徒は、上下関係を通じて、社会人としての礼儀や行儀を学ぶ。
- (5) 学習と部活動
 - ・就業技術科生徒として、現場実習やインターンシップなど職業に関する学習を第一に考える。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶デジタル端末等活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
 - ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	東京都高等学校野球連盟軟式部連盟総会（主将・顧問） 部活動紹介
	5	練習試合等
	6	夏季・秋季大会組み合わせ抽選会（主将・顧問）
	7	夏季大会開会式 夏季選手権大会 ※負ければ3年生は引退（3年生は以降の活動は練習のサポート） 部活動推進週間
	8	8月下旬～10月上旬：秋季大会 部活動推進週間
	9	練習試合等
後期	10	練習試合等 ソフトボール大会（特体連）
	11	基礎体力強化練習
	12	基礎体力強化練習
	1	府中駅伝競走大会 春季大会組み合わせ抽選会（主将・顧問）
	2	
	3	審判講習会（チームから6名以上参加） 3月下旬～4月下旬：春季大会